# Fund Letter

## ＹＭアセット・バランスファンド（安定タイプ）／（成長タイプ）
## 愛称：トリプル維新（安定タイプ）／（成長タイプ）

## 市場環境と今後の運用方針について

２０２６年１１月１３日

平素は「ＹＭアセット・バランスファンド（安定タイプ）／（成長タイプ）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドでは、２０２６年１０月は前回変更した資産配分を維持しました。本レターでは、足元の市場環境と今後の運用方針についてご案内いたします。

引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### ●　市場環境のポイント

#### ・ＡＩ（人工知能）投資の持続性と企業の資金繰りへの懸念

ＡＩ需要の拡大を背景に、大手テック企業によるデータセンターや半導体への投資が続いています。一方、巨額の設備投資によって企業の手元資金が減少し、借入れや社債発行が増えていることから、投資した資金を十分に回収できるのかという懸念が強まっています。こうした中、財務基盤が弱い企業を中心に信用リスクへの警戒が高まり、株式市場が不安定になる一方、安全資産とされる債券を買う動きから、長期金利が低下する場面も見られました。また、米国の中間選挙で民主党が躍進したことを受け、ＡＩ関連企業への規制強化やデータセンター建設への影響も注目されています。

#### ・日米の金融政策

米国では、物価上昇の根強さやFRB（米連邦準備制度理事会）メンバーによる利上げを支持する発言を受け、１２月の追加利上げ観測が高まっています。また、日本では、日銀が基調物価が2%となったとの認識を示しており、追加利上げ観測は根強い状況です。しかしながら、今後ＡＩ関連企業を巡る信用不安が深刻化し、企業の資金調達環境が悪化すれば、各国中央銀行の利上げの時期やペースなど、金融政策の判断に影響を与えることも想定されます。

**当資料のお取扱いにおけるご注意**

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒　ワイエムアセットマネジメント　083-223-7124（営業日の9:00～17:00）HP https://www.ymam.co.jp/

## ●　市場環境のポイント（続き）

**・中東情勢と原油価格**

中東情勢を巡っては、紛争終結に向けた交渉が進み和平に向かうとの期待がある一方、軍事衝突が再び激化するリスクも残っています。軍事衝突の再燃や原油輸送の混乱が続けば、原油価格の上昇によってガソリン価格や企業の製造コストが押し上げられ、物価や金利の上昇につながる恐れがあります。一方、和平協議が進展すれば、原油価格の下落を通じて物価上昇懸念が和らぐことが期待されます。

## ●　今後の運用方針

・米国の中間選挙後の政策動向や、ＡＩ関連企業の資金調達環境、中東情勢の先行きには不透明感が残っており、市場の不安定な状況が続いています。このため、ポートフォリオ全体のリスクを抑える運用を継続する方針です。

・引き続きＡＩ関連企業の信用リスクが市場のテーマとなる可能性はありますが、ＡＩ市場の中長期的な成長トレンドは続くと考えています。今後は、ＡＩ関連企業の決算や資金調達の状況に注目し、受注を確保し、設備投資が収益の拡大につながっているか、財務内容が改善しているか、資金調達環境に改善が見られるかを確認していきます。また、中東情勢の緊張緩和による原油価格の下落も投資家心理の改善につながると期待されるため、こうした変化を捉えながら、機動的に配分比率を見直していく方針です。

## 安定タイプの資産配分（２０２６年１０月末時点）

| ファンド名※1 | 配分比率 |
|---|---|
| 国内株式ファンド | 13.0% |
| 先進国株式ファンド | 13.0% |
| 新興国株式ファンド | 3.0% |
| 国内ＲＥＩＴファンド | 4.0% |
| 先進国ＲＥＩＴファンド | 3.0% |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 44.0% |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 6.0% |
| コールローン、その他 | 14.0% |

※1 ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

〈ご参考〉
２０２６年１１月１２日現在
基準価額：１０，０７１円、純資産総額：１５億円

## 成長タイプの資産配分（２０２６年１０月末時点）

| ファンド名 | 配分比率 |
|---|---|
| 国内株式ファンド | 15.0% |
| 先進国株式ファンド | 15.0% |
| 新興国株式ファンド | 7.0% |
| 国内ＲＥＩＴファンド | 7.0% |
| 先進国ＲＥＩＴファンド | 7.0% |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 29.0% |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 6.0% |
| コールローン、その他 | 14.0% |

〈ご参考〉
２０２６年１１月１２日現在
基準価額：１４，１４３円、純資産総額：２３２億円

※1ページ目の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 当ファンドの組入ファンド

当ファンドは、以下の7ファンドで構成されています。

**国内株式ファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | わが国の株式 | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.209%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 | | |

**先進国株式ファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | 先進国（日本を除く）の株式 | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.297%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 | | |

**新興国株式ファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | 新興国の株式 | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.33%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 | | |

**国内REITファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | わが国のリート | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.209%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 | | |

**先進国REITファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | 先進国（日本を除く）のリート | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.286%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 | | |

**先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | 先進国（日本を除く）の債券 | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.275%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。 | | |

**新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主要な投資対象 | 新興国の債券 | ベンチマーク | － |
| 運用会社 | 大和アセットマネジメント株式会社 | 管理報酬等 | 0.297%（税込、年率） |
| 形態 | 追加型投資信託 | 当初設定日 | 2016年6月20日 |
| 運用の特徴 | 新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。 | | |

※ファンド名は、「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドの目的・特色

ファンドの目的

●内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ファンドの特色

1. 複数の投資信託証券への投資を通じて、主として内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資します。
2. 各資産への投資比率が異なる「安定タイプ」と「成長タイプ」の２つのタイプから選択できます。
3. 山口フィナンシャルグループの運用会社であるワイエムアセットマネジメント株式会社がファンド運用を行ないます。
4. 内外の債券、株式およびリートを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
　YM アセット・バランスファンド（安定タイプ）：「安定タイプ」
　YM アセット・バランスファンド（成長タイプ）：「成長タイプ」
・各ファンドの総称を「YM アセット・バランスファンド」とします。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## ファンドの費用

<table>
<tr><th colspan="4">お客さまが直接的に負担する費用</th></tr>
<tr><td colspan="2">購入時手数料</td><td colspan="2">ありません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">信託財産留保額</td><td colspan="2">ありません。</td></tr>
<tr><th colspan="4">お客さまが信託財産で間接的に負担する費用</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">運用管理費用<br>（信託報酬）</td><td colspan="2">運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して次に掲げる率</td></tr>
<tr><td>安定タイプ</td><td>成長タイプ</td></tr>
<tr><td>年率1.1275%（税込）</td><td>年率1.2375%（税込）</td></tr>
<tr><td>投資対象とする投資信託証券</td><td>年率0.209%（税込）～年率0.330%（税込）</td><td>年率0.209%（税込）～年率0.330%（税込）</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用</td><td>年率1.406%程度（税込）＊</td><td>年率1.510%程度（税込）＊</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他の費用・手数料</td><td colspan="2">監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。<br>※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</td></tr>
</table>

＊実際の組入状況等により変動します。
※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 取扱い販売会社

| 販売会社（業態別、50音順）（金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社北九州銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第117号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社もみじ銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第12号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社山口銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第6号 | ○ | ○ | | |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

設定・運用

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

商号等　ワイエムアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　中国財務局長（金商）第44号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会